

初期対応から全身管理までを“フィジカルアセスメント”の視点を踏まえて 分娩期の産科救急・母体急変時の 迅速な判断と対応



異常サインの見極めと看護師・助産師、医師によるチームでの取り組み

産科救急の医療現場では、それぞれの職種の役割と共にチームでの対応が重要です。本セミナーでは、分娩期に焦点を当て、産科救急でよくある疾患や、まれであっても危険度が高く見落とせない疾患について、症状・治療から助産師・看護師ができる処置や医師との協働による対応のポイントを分かりやすく解説します。また、一次医療機関での役割、高次医療機関での対応についても解説します。

助産師・看護師が身に付けておくべき知識と
処置・手技を噛み砕いて指導!

プログラム

1. 日常診療で遭遇する産科救急の疾患の特徴 事例で深める

見落とせない疾患の症状の理解と異常のサイン

- 妊娠高血圧症候群 ●HELLP症候群 ●子癇
- 周産期心筋症 ●肺水腫
- 産科危機的出血
(産科DIC・常位胎盤早期剝離・子宮破裂・羊水塞栓症)
- 肺血栓塞栓症 ●胎児機能不全

2. 母体急変～トリアージのコツと落とし穴

- 1) 母体救急蘇生
- 2) 母体死亡にかかわる救急疾患への対応
- 3) 死戦期帝王切開とは
- 4) 脳出血、肺血栓塞栓症、羊水塞栓症
- 5) 母体急変を未然に防ぐために

3. 異常分娩における判断と対応の実際

助産師・看護師が身に付けておきたい知識と処置・手技

- 1) 遷延分娩(回旋異常、不正軸進入など)～診断と対応
- 2) 急速遂娩～吸引分娩から帝王切開まで
- 3) 帝王切開の術前から術後の対応～特に救急場面に焦点を当てて

4. まとめ・質疑応答

お客様の生の声は

中田雅彦氏 東邦大学 医学部 産科婦人科学講座
同医療センター大森病院 産婦人科 教授

1990年山口大学医学部産科婦人科学教室に入局。山口大学医学部附属病院周産期母子医療センター、徳山中央病院周産期母子医療センター、川崎医科大学附属川崎病院を経て、2015年より現職となる。双胎間輸血症候群などの胎児治療を行うと共に、日本医療機能評価機構産科医療補償制度専門部会委員、日本母体救命システム普及協議会委員などを歴任。また、ベストドクターズ社『Best Doctors in Japan』に2014-2015, 2016-2017と二期連続で選出される。

東京 18年11月17日(土) 飯田橋レインボービル

福岡 18年11月18日(日) 日総研研修室(第7岡部ビル)

【講義時間】いずれも10:00～16:00

参加料 一般 19,000円 会員 16,000円
税 込 ※会員は日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数17人。

ホームページ 毎週更新 現場から生まれた専門性を磨く研修と教材

現場で育まれた“知恵”と“技”で実践力を!
臨床助産ケア
スキルの強化

隔月刊誌
(年ぎめ定期刊行物)
A4変型判 120頁
入会金 3,000円
年間購読料 16,971円
(共に税込)

9-10月号
特集

- 産後ケア最前線
- 妊娠糖尿病(GDM)の管理

助産ケア

▶詳細はホームページで www.nissoken.com

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書		▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所	TEL()	—	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
分娩期の産科救急・ 母体急変時の 迅速な判断と対応[14538]	ふりがな			〒	—		
	氏名 (受取 確認者)						
↓参加地区に✓印を	生年月日	西暦	19 年 月 日	勤務先名			
[3] <input type="checkbox"/> 東京 11/17	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください						
[4] <input type="checkbox"/> 福岡 11/18	お客様コード	役職・部署					
ご連絡をお送りします。メールアドレス							

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 日総研 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy